

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」
Ⅱ テサロニケ五章

ご献金者
敬称略
11月分
中谷 哲造
引原 勝美
金山 良雄
チャイム・
コンサート
(池田
チャイムの会)
橋本るつ子
日本アッセブ
リー オブゴッ
ド希望キリス
ト教会(静岡)
榎本 和子
榎本てる子
安仲 萌子
取締役
ミアシュラム
小林 三夫
(河辺
ミアシュラム)
高橋 榮一
(愛知
1道シュラム)
松平 吉生
松平千鶴子
明石シオン
伊達 知恵
幡江美智子
札幌アシュラム
植松喜美子
越智 千歳
上柿 京子
香川 孝子
佐賀 昭子
山田喜久子
吉田恵美子
正岡リツコ
渡辺 信治
外賀 操子
佐々木春代
沖田 朝子
榎本 恵
榎本 康子
福山 直美
鈴木 静
松本 菊枝
渡辺 信治
宮崎 信義
小林 信子
横山 宜和
四方 幸子
福岡聖書教室
松野 かよ
高山美津江
村瀬 俊夫
脇 万里子
北原 葉子
持田 澄子
渡辺不二夫
渡辺 あき
カフエいらいば
聖書入門講座
大山 悠子
山岡 義明
長澤 洋子
下村 徹嗣
菅根 ヨシ
櫻井 愛子
当山八重子
常任運営委員会
村上 勇
森山 直子
牧野 伴子
センター
聖書教室
金井 孝子
米田 歌子
米田 康子
ちいらは敬福記念
チャペル礼拝
鈴木 茂夫



同じ教会の築山姉と。
センター聖書教室にて



静岡から安仲姉がご来訪。
長年のアシュラムの友

新年おめでとうございます。
お元気で新しい年をお迎えなさいま
したでしょうか。過ぐる一年は内外共
に大変な年でした。憤懣(ふんまん)
やるかたなきを覚えたこと幾度、加え
てわが家の次女の長引く病に心痛む
日々でした。鏡に映る老けた我が顔、
笑いまで消えて行くように思いま
した。やがてこれではいけない、と悩
んでいる時、ふと浮かんだ聖書のみ言葉
が最初に書かせていただいたもので
す。私はハッとさせられ改めて数えて
みよ主の恵み、主からいただいた数々
の恵み、多くの兄弟姉妹からお受け
した御愛に感謝しなさいと強く示され
ました。そうだ、このみ言葉を心に刻
み、新しい一年を始めようと決心した
時、心は軽くなり明るくされました。
皆様の上に、この一年も神さまの恵
みとお守りが豊かにありますようお祈
り申し上げます。
2018年 1月

榎本 和子



次女てる子師(車椅子)の
お世話をする和子母。



92才の和子母から
20才の俊輝兄へ。夕礼拝の後で

頂いたお便りの中から

主の御名を讃美いたします。
毎月送って頂くアシュラム誌を心待ちし
て読んでおります。かつては私もセンター
で発送のお手伝いをさせて頂きました思い
出が残っています。発送には岡崎姉の後につ
いて郵便局に持ち込みました。中村町から
本局までは遠い道ではありませんが、北
海道、青森、秋田、盛岡と地区ごとに確か
めて岡崎姉は記念切手を貼るようになされて
いました。榎本保郎先生の意を受けついで
彼女がご自分の財布から切手を求めておら
れるように思いました。空箱を再び自転車

に積んでセンターへもどり、和子さんとお
話をしたりお茶を頂く楽しみがありました。
和子さんは小麦粉を水で溶かし煮て、のり
を作られていたことも思い出します。

月日の流れは早くあれから40年近くすぎ
ました。信徒の友10月号にてる子さんの文
章を読み、成長の跡をしのびました。

榎本先生を天に召された神様はご一族を
守られ祝福して下さいと常には私
は自分の心にも言い聞かせるのです。

十字架のイエス様を見上げつつ暮らす
日々には平安をお与え下さっていると信じ
ます。(2年前のお便りです。)



湯野静子・94才(札幌アシュラムの友)
(札幌北部教会)

第22回 北陸富山アシラムに参加して

石田 哲夫

10月20日、21日立山山麓、インテック大山研修センターで参加者12名のアシラムは、ご奉仕下さる村瀬俊夫先生との別れ会でもありました。今回の主題聖句「あなたがたが救われたのは、ただ恵みによる。」(エペソ2・5)、日頃、柔らかな人としての先生しか



知らない私にはかつては自他ともに厳しさの人であられたというところが不思議なくらいでした。アシラムでの静寂な空間で先生の御言からの呼びかけは、主イエスが賜(はらわした)のちぎれる思いで深く憐れんで下さり、聖霊が主の憐れみとして注がれている様を目から鱗の思いで気づく

体験となりました。この高価な恵みを与えられたにもかかわらず、私は憐れまれるような人間ではないとの強い思いが沸き起こってきます。主はそれにもかかわらず憐れみを注いでくださいました。そして聖霊は憐れみとして降り注がれていることを合点する機会と

で29年になります。静聴の時を持つという集まりには参加した事は今まで一度もありませんでした。今回、初めてアシラムを体験し解ったのは、私が今まで行ってきた事は主に聖書研究であってデボーションではなかった、という事です。

また早天祈祷会では、信仰生活の上で大切なのは、主と共に一緒に歩む、という事であり、主の為に何かをする、という事ではな

いのだと教えていただきました。主の為に、主の為にと言っていると神様を後ろに追



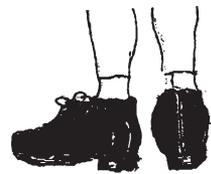
第42回 京浜アシラムに参加して

井上 廣子

私は救われて、今年大変納得出来ました。確かに神様は霊であられますから私たちも自分の霊性が養われて初めて主の御声をお聞かせいただけるのだと知り、日々レビの時を持つ重要性を深く思わされました。

なりました。アシラムは聖霊との出会いの場です。詩篇130篇1節「深い淵の底から、主よ、あなたを呼びます。」と、主を仰ぐ人の立場を知りました。主題聖句「ただ恵みによる。」を「ただ憐れみによる」と受け

示されたことが感謝でした。(金沢畝田聖書集会)



カット 石田兄

- 田中美知子
- 大阪聖書教室
- 横沢ユキエ
- 鳥羽 彩子
- 伊達 平和
- 中道 悦子
- 阪神アシラム
- 亀井 ヨシ
- 静岡聖書教室
- 安仲 萌子
- 加々美 要
- 李 非玲
- 石津 邦子
- 辻田志津子
- 小倉徳力
- 吉田すみえ
- 東京聖書教室
- 堀井 端徳
- 和田 陸子
- 西野 栄子
- 京浜アシラム
- 堀大派
- キリスト教会
- 山崎 義人
- 山崎知恵子
- 向井 登治
- 向井 浩子
- 桑原 亜子
- 赤塚 高仁

89 口
¥1,194,226

ヨセフ基金
吉田すみえ
ちいるば
アツちゃん
シユラム君
るっちゃん
3口
クッキー
¥15,000

クリスマス献金
小倉 博子
松岡 正喜
本田 英一
石崎 健一
金田 和子
新井 洋子
新野 敏子
岡村 久子
鈴木 静子
松原 千里
後藤 二子
加藤 智恵
下村 徹
島田 洋子
前野 佳子
野村 昌代
無上 氏
島羽 京子
無加々美 氏
加々美 非玲
李 佑子
佐藤 栄子
宇野 栄子
松本 直美
溝口 長太郎
26 口
¥272,000

合計
118 口
¥1,481,226

専らご献金、ご商品、お祈り、感謝いたします

やってしまった自分が前に出てしまうのだと気づかされました。

このようなわけでアシュラムから帰って来て以来、主を待ち望み、主に聴き従う日々を幼いながらも少しづつ聖霊様にお導きいただいております。

最後に、今回の京浜アシュラムにて主にある兄弟姉妹お一人お一人と知り合えたこと、神様に心から感謝致します。さらに、祈りのファミリーが与えられ、一年間、同じ祈りを主にお捧げできる幸いも本当に嬉しく感謝です。主のお許しがありますならば、一年後、また兄弟姉妹とお会い出来ますので、今からとても楽しみにです。

(保恵キリスト教会)

アシュラム修道場生活記

その13

「合理性と非合理性のあいだで」

伊達 平和

アシュラムセンターで仕事を手伝い始めた時、よく思ったことがある。それは、ここでは様々なことに「手間」をかけているということだ。これは今ならそう思えることであって、当時は「効率がわるいなあ」とか、そういう目でみていた。デジタル世代からすると、アナログなやり方がもどかしい。パソコンで楽をしたらいいのに、と。つまり、当時の自分には「非合理」的なことが多いように見えた。

例を一つ上げておこう。センターでは、早天祈祷会の最後に、各アシュラムで書かれた「祈祷カード」をみて、誕生日を迎えた一人一人にお祈りをし、誕生日カードを送っている。そのカードのあて名はすべて手書きである。現在年間1200枚以上のカードを送り出しているため、住所を人の手で書くという仕事はだいぶ労力がある。しかしパソコンを使えば、一気に印刷することができる。センターの仕事は沢山あるため、住所を印刷する手間を省いたほうが「合理的」だと考えたのだ。そのように提案したところ「うーん」というハッキリしない反応でなんとなく流れていった。論理的に説得されたわけではないが、何か違うものを感じ取った筆者は、それ以上踏み込まなかった。以上の経験から筆者が学んだことは、何が合理的で何が非合理的かという判断は簡単にできるものではないということだった。

人間や社会が合理的な存在かという問いは優れて学問的な問である。例えば、筆者が軸足を置く社会学には「合理性の非合理的基礎」(ラ

ンドル・コリンズ『脱常識の社会学』)という議論がある。人間は様々な契約やルールを定め、社会を作っている。しかしその契約が守られるという保証はどこにもない。このことを突き詰めると、最終的にお互いを「信じる」というあやふやで非合理的な基礎の上に私たちの社会が成り立っていることが分かる。そういう議論である。非合理性についての研究は意外と多く、個人の行動についても、人がよく非合理的な選択をするということは、近年では行動経済学という分野でも熱心に研究されている(ダン・アリエリー『予想どおりに不合理』など)。一見非合理的に見えることも、その中に隠された意味があるというわけだ。

冒頭の例にもどろう。パソコンであて名を印刷するということは、大量にものをさばくという点では優れていることは間違いない。コツコツとあて名を書く作業を数時間で終えることができる。しかし、そこで失うものも必ずある。それはみんなであて名のない話をしながら時間を共有するという「経験」であったり、手書きの文字にしかない「ぬくもり」であったり…それはおそらく数字で測ることができない何かである。

というわけで、アシュラムセンターでの暮らしは合理性と非合理性とのせめぎあいである。それはある意味で聖書的な生活なのかもしれないとすら思える。合理性と非合理性という相反するものを統合する理論があるのか。自分はそれが大切だとは今は思わない。そのあいだで生きていく過程の中に働く「何か」がある。そう信じていることが、ここで生きていく上で必要なことなのではないか。そのようなことを考えながら日々暮らしている。(祈りつつあて名書き)和子母



誕生日の知恵姉に皆で手作り!

第7回 平和合同祈禱会
癒しのハーブと平和へのメッセージ(2)

キャロル・サック師

12月7日・夕

私が音楽死生学を勉強し始めた時、クラスには18人の生徒がいました。アメリカ、カナダ、ドイツ、イスラエル、日本など、出身地はさまざまです。医学の専門家もいれば、学校を中退した人、ビジネスマン、主婦もいました。私たちにはいろいろな違いがありましたが、でも、同じゴールに向かつて、集中的に2年間、共に学ぶために、同じテーブルを囲んでいたのです。最初の日に、先生がこう言ったのを覚えています「皆さんの周りにいる人を見渡してみてください。さあ、その中で一番自分と違うなあと思う人を探して下さい。絶対に良い友達には、なりそうにない人です。その人こそ、あなたが、一番多くを学ぶことができますよ。」

また、ある時、先生はおっしゃいました。「相手の話をよく聴けば聴くほど、必然的に、その人をより愛するようになるのです」

クラスには、私より20歳くらい若い、アビゲイルという女性がいました。彼女はイギリスから来ていました。最初の日、私たちは自己紹介をするように言われました。私が最初に話さなくてはならなかったのです。こう言いました。「私はキャロル・サックです。宣教師で、日本に15年住んでいます。」

何か月もたつてから、アビゲイルは、「宣教師に会ってシヨックだった」と言いました。さらに、私が宣教師であると皆の前で認めたことが、もつとシヨックだったというのです！

彼女は、宣教師についての恐ろしい話をたくさん読んでいました。宣教師が昔、現地の人々に恐ろしい危害を与え、彼らの文化を踏みじり、意図せずにウイルスを運び込み、その結果たくさんの人を死に追いやった、などの話です。

彼女の理解では、自分の宗教を他人に強引に押し付ける宣教師ほど恥ずべきものはなかったのです！私から見れば、このアビゲイルはバイセクシャルで、いわゆる普通の責任あるライフスタイルとは正反対のワイルド



サック師と早天祈禱会。
心通わせて・(アンナ祈りの家にて)

な生き方をしていました。彼女は、私が決して口にしないような言葉を平気で使っていたのです！私にとっては、彼女こそが自己破壊型で、危険な人物でした。

7か月が過ぎて、この二人が親友になるなんて、誰が想像できたでしょう。そうだったのは、私たちがたくさんのお互いの時間を共にし、お互いによく相手の話を聞いたからなのでした。

自分のバックグラウンドや家族、経験などについて話しながら、お互いに共通の人間性があることや、なぜ今のような人間になったのかを理解して、認め合うようになりました。今では、アビゲイルのことを、私が知っている中で、最もスピリチュアルな人の一人だと思っています。彼女の話を聴く機会を与えられたことに、とても感謝しています。アビゲイルのライフスタイルは共有することができなくて、彼女は、人間や世界

に対する私の理解の幅を広げてくれました。そしてアビゲイルもまた、心の中で神様を感じることを私が助けてきたのだ、と言います。本当に、相手の話を聴けば聴くほど、お互いを理解して愛するようになったのです。



上内鏡子師による平和への祈り
(共催の神戸イエス団教会牧師)

今お話ししたことは、ささやかな個人的な出来事ですが、自分の周りにいる人の言葉に耳を傾けようとすると心を持たなければ、世界平和も和解も実現することはないでしょう。私たちが、まずは私が、相手の話を聴くことから理解が始まるのです。
(続く)

2月の聖書教室など

| | |
|------|-------------------------|
| 2(金) | 阪神ミニアシュラム (主恩教会 PM1:00) |
|------|-------------------------|

2月のアシュラムなど

| | | |
|---------------------|--|-----------------------------|
| 3(土) | 呉アシュラム 奉仕者 櫻本恵師 | 0823-21-8571 日本アライアンス呉教会 |
| 9(金) | ブラジルアシュラム 奉仕者 櫻本恵師 | 0748-33-4030 アシュラムセンター |
| 11(日) ~ 13(火) | パウリアシュラム(ブラジル) 奉仕者 櫻本恵師 | 0748-33-4030 アシュラムセンター |
| 17(土) | 日米合同教会ミニアシュラム (アメリカ NY) 奉仕者 櫻本恵師 | 0748-33-4030 アシュラムセンター |
| 21(水) ~ 23(金) | 台湾愛修会 第15回 国際正義平和アシュラムin玉山 | 048-789-1325 加々美 要師 |

3月のアシュラム予定

| | | |
|-------------------|---------------------------|-----------------------|
| 1(木) ~ 2(金) | 第44回 松山アシュラム 奉仕者 寺尾雅生師 | 089-983-1164 寺尾雅生師 |
|-------------------|---------------------------|-----------------------|

4月以降のアシュラム予定

| | |
|-----------|-------------------|
| 4月20~21日 | 第25回 三重アシュラム |
| 4月30日 | 第21回 阪神一日アシュラム |
| 5月3~5日 | 第26回 盛岡・秋田アシュラム |
| 5月3~5日 | 関東青年アシュラム |
| 5月18~19日 | 第5回 北陸・金沢アシュラム |
| 5月26日 | 第18回 愛知一日アシュラム |
| 6月23日前後 | たびんちゅ牧師と行く沖縄巡礼の旅 |
| 7月16日 | 福岡一日アシュラム |
| 9月14~15日 | 新潟一泊アシュラム |
| 9月26~28日 | 第6回 日光オリーブの里アシュラム |
| 10月1~2日 | 第42回 山陰アシュラム |
| 10月26~27日 | 第19回 愛知一泊アシュラム |
| 11月14~16日 | 第42回 阪神アシュラム |

町田市、黒見姉宅での“ちいろば祈りの家”集会。
やっと始められた喜びも束の間、姉が病に・・・。
主によって、どうか再開できますように!!



あ と が き

2月6日から26日まで、ブラジル、ニューヨーク、そして台湾の海外アシュラムの旅に出かける。今までは、サンパウロでのルーヂラモス教会のアシュラムに隔年ごとに行っていたのだが、今年は、ルーヂの枝教会バウル教会のたつての願いで、初めてかの地でもアシュラムを開催することとなった。サンパウロから400キロの距離と聞き、驚いているが、ここにもマケドニア人の幻があること信じ、出かけて行こうと思う。どうか、海外の同胞のために、みなさんの祈りとお支えを頂きたい。(恵)

みことば

日本キリスト教団
西川口教会牧師 (埼玉)

金田 佐久子

「主イエスに聴く
マタイ福音書第6章より」

(10) 13節 誘惑に遭わせず

主イエスの弟子は、絶えずこの通り祈ることによって、主の守りと救いに与ることができます。サタンはあらゆる手段で神から引き離そうと誘惑するからです。わたしたち以上にわたしたちの弱さを知っておられる主イエスが授けてくださった祈りです。裏を返せば、わたしたちにとって誘惑となるのは、主の前に素直にひれ伏して「お救いください」と祈らないことではないか。自分が弱く、助けと救いを必要としているのに、そのことに気づかない、あるいは気づこうとしないことが、キリスト者にも案外多いのではないかと、思っています。エレミヤ書第17章9節に「人の心は何にもまして、とらえ難く病んでいる。誰がそれを知りえようか」とあります。最初の一行、ルターの翻訳では「人の心はつぶっているか、いじけている」とのことです。思い当たります。人の心は、ひどく強気であるか、そうでなければいじけている。このことを、キリスト者の哲学者ケルケゴールが著書「死に至る病」の中で「強気の絶望」、「弱気の絶望」として描いています。この絶望は罪であり、絶望の行き着く先は滅び、死です。使徒パウロの言葉も思い起こされます。「神の御心に適った悲しみは、取り消されることのない救いに通じる悔い改めを生じさせ、世の悲しみは死をもたらします」(コリントⅡ7・10)。つぶれている自分、いじけている自分をそのまま主の前に差し出して「悪い者から救ってください」と祈ります。



皆様のお祈り・お支え・感謝です。



久々の再会！
そっくりな母娘